

Lilongwe 上水道水質調査：IMP プログラム（マラウイ）

日程：2012年9月2日～9月10日

鈴木, Sinosi Maliano (M2)

IMP プログラム修士 2 年の Maliano 君の母国であるマラウイにおいて、上記の日程でリロングウェにおける上水道の流量現地調査、および水質調査を実施した。



日本から 24 時間以上かかり到着. リロングウェの空港にて Maliano 君（左端）と合流.



Maliano 君のオフィスである, Lilongwe Water Bord.



副 General Manager である Mwandira 氏と挨拶.



水源であるダムに向かう. 道は赤土.



ダム湖の堤体上から下流側.



水質環境マネージャーである Kachingwe 氏と挨拶.



貯水槽を見て回る.



敷地内にある浄水場. 設備レベルは日本に比べると随分と低い.



流量調査のため, 水道管が見えるまで穴を掘り, 流量計を設置する.



Maliano 君の研究ターゲットである Area9 の貯水タンク.



設置時の様子. 土地は国の所有であり, 問題はないとのこと.



この日の昼食は Water Board 内にて. 食事は牛肉が多い.



最終日, マラウイ湖へ. 湖というよりも海.



流量調査と共に, 各所で採取した水の水質調査も合わせて実施した.



帰り路, Maliano 君がマンゴーを購入.



プロジェクトマネージャーである Alfonso Chikuni 氏と挨拶.



帰り路. リロングウエ発の飛行機が遅れ, ヨハネスブルグでのトランジットが 20 分となり, 走って自分は間にあったが, 荷物は間に合わず. 成田にて初のロストバゲッジ.